

5 緑と水の潤いある都市の構築（環境に係る主要な都市計画の決定の方針）

（1）自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- ・東京都内においては、公園・緑地のほか都市開発による公開空地等の緑や街路樹の緑などが増加している一方で、多摩部における大規模開発などによる樹林地や農地の減少が続いており、東京都全域でのみどりの総量は減少している。都や区市町村による都市計画公園や緑地の整備、農地や樹林地等の保全を推進するとともに、防災や都市再生など様々な施策とも連動させながら、あらゆる場所でみどりを創出・保全していくことで、みどりあふれた都市を創り上げていく。
- ・みどりが都市の基盤となり、みどりがあふれ季節を問わず快適に過ごすことができる都市空間を形成するとともに、生物多様性にも配慮したみどりの積極的な創出や豊かな自然環境の保全・再生・活用を進める。
- ・特に、都市農地が、防災、良好な景観の形成、環境保全等の良好な都市環境の形成に資する貴重な緑の空間であり、これまでの「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」へと位置付けを転換することとされたことを受け、農業振興施策と連携しつつ、様々な都市計画制度等を活用することにより積極的に都市農地の保全・活用を図る。

①公園などの整備に関する方針

○みどりの骨格を形成する公園などの整備

- ・みどりの骨格を形成するため、「都市計画公園・緑地の整備方針」に位置づけた水と緑のネットワークの形成に資する公園・緑地の整備を推進する。
- ・広域的に連続し、みどりの骨格を形成する丘陵地、崖線や河川、用水沿いなどにおいて、地域の状況やニーズに応じてみどりの連続性を確保する公園・緑地を配置する。特に河川沿いの公園・緑地については、浸水被害軽減に資する調節池も合わせた一体的な公園整備を推進していく。
- ・河川など水辺空間の緑化を進め、都市公園や街路樹などと有機的にみどりをつなげることで、水と緑のネットワークを更に充実していく。

○震災時の避難場所となる公園などの整備

- ・東京の防災機能の強化を図るため、震災時の避難場所や救出・救助活動の拠点となる公園・緑地、都市型水害の軽減などに寄与する公園・緑地を配置するとともに、「都市計画公園・緑地の整備方針」等に基づき整備を重点的に推進する。
- ・震災時の救出・救助活動拠点となる大規模公園などの整備を推進する。
- ・防災活動の拠点や一時集合場所などとなる身近な公園を、誘致距離 250m 以内を目途に配置する。特に、木造住宅密集地域とその周辺については、重点的に配置する。
- ・河川・道路などとともに、延焼遮断帯又は避難経路として機能する公園・緑地を

配置する。

○民間との連携

- ・Park-PFI など、官民による連携・協働を進め、公園・緑地の多面的な活用の推進を図る。
- ・空き家・空き地において市民緑地認定制度を活用し、公園的な空間としての整備・管理を推進することにより緑化の促進とみどりの質の向上を図る。
- ・市民緑地認定制度の活用併せて、Park-PFI により、民間の緑化空間と都市公園との一体的な管理を促進し、質の向上や良好な維持・管理、地域の活性化を図る。

○環境の保全

- ・環境負荷を低減し、自然と共生する都市環境を形成するため、ヒートアイランド現象の緩和や生物多様性の保全など、良好な環境の確保に資する公園・緑地を配置し、整備を推進する。
- ・河川沿いには、広域的に連続した水辺空間を生かし、良好な都市環境の形成に効果的な公園・緑地を配置する。
- ・都立公園等の都市計画公園を着実に事業化することなどにより、緑と水によるエコロジカル・ネットワークを形成し、ヒト・生物・環境にやさしい緑と水の質量をともに確保する。
- ・都市公園などを多様な生物が生息・生育できるエコロジカル・ネットワークの拠点にするとともに、動植物園とも連携し生物多様性の保全・普及啓発を進める。
- ・丘陵地の自然を保全するとともに自然の大切さを体験できるよう、丘陵地公園の整備を進める。

○快適で質の高い生活環境の創出

- ・人々に潤いと安らぎを与える快適で質の高い生活環境を創出するため、身近な自然とのふれあいや散策、スポーツ、文化活動など、多様なレクリエーションの場となる公園・緑地の整備を推進する。
- ・日常的なレクリエーションに対応するとともに、子供や高齢者が安心して楽しむことができる身近な公園・緑地を、多様な世代が自宅から容易にアクセスできる範囲に配置する。
- ・空き家の除却により活用が見込まれる空き地や土地所有者から買取の申出があった生産緑地などについて、換地手法等を用いて都市計画公園等の整備を図るほか、市民農園等としての利用を進める。

○都市の魅力の向上

- ・にぎわいや観光の拠点の形成、地域の個性の醸成、美しい景観の創出などにより、

多摩の魅力の向上を図るため、江戸から続く歴史や文化、特色ある自然などを継承する公園・緑地の整備を推進する。

- ・開発の機会等を捉え、水辺沿いのオープンスペースや連続する緑地を確保するとともに、にぎわい施設を誘導するなど、移動性や回遊性が高く、魅力のある親水拠点の形成を図る。
- ・地域の個性ある環境の保全を図り、観光資源としても活用するため、公園などの整備に際しては、生物多様性にも配慮し、四季を感じることができる樹種の選定や計画的な植樹を図る。

②みどりの保全に関する方針

○骨格となる水と緑の保全

- ・丘陵地、崖線、河川、用水沿いのみどり、まとまりのある農地や旧街道沿いに連なる農地など、広域的な連続性を持つみどりを、東京のみどりの骨格として、計画的・重点的に保全する。
- ・従来の丘陵地や河川、崖線などの保全再生に加え、まとまりのある農地の保全、大規模団地や公共施設の建替えに合わせた緑化、大規模な民間開発による緑化空間の整備などにより、骨格的なみどりとしてみどりの厚みとつながりの強化を推進する。
- ・みどりの骨格となる都市計画公園や河川沿いの緑地、街路樹等の整備に加え、立地適正化計画などの活用による集約型の地域構造への再編に際し、居住誘導区域の外側などにおいて、丘陵地などにつながるみどりを保全・創出することで、みどりに厚みを持たせる取組を推進する。
- ・「緑確保の総合的な方針」で位置付けた、将来にわたって確保することが望ましい緑について、特別緑地保全地区や都市計画緑地などの制度の活用・併用等により戦略的に保全する。
- ・都市開発諸制度や区部中心部の都市再生特別地区を活用し、居住誘導区域外などのまとまった農地など骨格的なみどりの保全・創出を進めるなど、広域的に連動した取組を進める。

○市街地に残された樹林地や農地などの貴重なみどりの保全

- ・崖線のみどりや屋敷林など、都市において良好な自然環境を形成している緑地を、特別緑地保全地区や市民緑地制度など様々な制度を活用することにより保全する。
- ・崖線を含む区域における開発に際し、地域の実情に応じた地区計画を活用し、崖線部分の容積率を隣接する平地へ移転することなどにより、崖線のみどりの保全を図る。
- ・営農意欲が高くまとまりのある農地が存在する区域を、田園住居地域の指定や人口動態を考慮して居住誘導区域から外すことなどにより、農地を核としたみどり

空間の形成を図る。

- ・田園住居地域の指定や地区計画の活用により、居住環境と営農環境が調和した良好な市街地の形成を図るとともに屋敷林や農地等の保全・活用を図る。
- ・市街化区域内の農地については、永続的な保全に向け、生産緑地地区の追加指定や特定生産緑地への指定を進める。
- ・生産緑地地区における農地の貸借制度などの活用により多様な主体の参画を進めるとともに、土地所有者から買取の申し出があった生産緑地などについては、農業公園や市民農園等としての利活用を進める。
- ・市街化調整区域の農地については、農地の状況を踏まえ、開発許可制度を活用して、市町村の上位計画と整合する農家レストランや直売所などの立地を推進し、農業経営を安定化・強化させることにより保全を図っていく。
- ・比較的まとまった農地や屋敷林などが残り特色ある風景を形成している地域については、農の風景育成地区などを活用し、将来にわたり風景の保全、育成を図る。
- ・都市計画道路の整備に併せて、細分化される農地や遊休農地、空き地などを換地手法等により集約することで、まとまったみどりとして保全を図る。
- ・集約型の地域構造への再編に際し、居住誘導区域外等の農地などの保全について、近傍の地域の拠点や区部中心部の中核的な拠点等の開発において、都市再生特別地区や都市開発諸制度を活用し、環境貢献として評価し容積を緩和するなど、広域的な観点から計画や事業の一体性を確保しつつ、効果的にみどりの保全・創出を推進する。

(2) まちづくりにおけるみどりの保全・創出に関する方針

- ・居住誘導区域内等の空き家・空き地を活用しながら、中核的な拠点や地域の拠点等における開発プロジェクトについて都市開発諸制度を活用し、小規模な公園・緑地などを創出する。
- ・木造住宅密集地域の改善や老朽空き家の除却、公園周辺などの開発の機会に併せ、連続した緑地やポケットパークの整備を促進する。
- ・道路整備等に併せ、街路樹による緑のネットワークと連続した緑陰による快適な歩行者空間を形成する。
- ・道路整備や河川改修と併せた公園・緑地の整備や周辺の敷地の緑化を誘導する事で、厚みのある緑のネットワークを形成する。
- ・複数の民間事業者が連携し、これまで都市開発等により創出された緑化空間と都市開発等で創出される緑化空間とを一体の緑のネットワークとして形成することや、みどり空間を良質に維持・管理・活用することを促進する。
- ・市街化区域全域を対象に緑化地域を指定することなどにより、建替えに併せて地域特性に応じた積極的な緑化を促進する
- ・商業地域等敷地内空地が少ない地域では、壁面緑化など地域特性に合わせた緑化

を推進する。

- ・団地や木造住宅密集地域等での機能更新を捉えた様々な緑化や市民緑地認定制度を活用したNPOや企業、民間主体による空き家・空き地の緑化を図り、公園的空間を創出する取組などを促進し、みどりの量的な底上げを図るとともに質の向上を推進する。
- ・緑化率の最低限度を定める地区計画などを効果的に活用し、まちづくりによるみどりの創出を誘導する。
- ・緑化率に応じた容積率の緩和を行う制度を活用し、大規模な建築計画の開発区域内において、既存の緑の保全とともに、良好な生育環境と利用者の快適性などを確保したみどり空間の創出を誘導する。
- ・公園周辺の開発に際し公園側の緑化を促すなど、公共空間と民有空間とが一体となったみどりを創出する。
- ・都市開発諸制度等を適用した大規模建築物の建築や開発行為により創出される公開空地等においては、生物多様性の保全を目標として追加した「公開空地等のみどりづくり指針（改定）」に基づき、事業者と連携して良好なみどり空間を確保する。
- ・災害時には都市公園と連携した防災空間として民間の公園的空間を活用し、地域の防災性の向上を図る。
- ・開発の機会を捉え、緑化計画書制度を活用した在来種植栽や生態系に寄与する既存樹木の保存を推進するなど、生物多様性に配慮した緑地を創出する。
- ・既存のエリアマネジメント組織の活用や事業者が連携できるプラットフォームの構築、市民緑地認定制度などの活用に加え、エリアマネジメント活動を支援する仕組みを構築していく。

(3) 環境負荷の少ない都市の形成に関する都市計画の決定の方針

①エネルギーの有効活用に関する方針

- ・中核的な拠点や地域の拠点などでは、都市開発諸制度などを活用した複合開発により、最先端の省エネ技術、未利用エネルギー、再生可能エネルギーなど（太陽光や水素エネルギー等）の積極的な導入を促す。また、地域冷暖房施設などの導入・接続による地区・街区単位でのエネルギー利用を促進する。
- ・需要パターンの異なる建築物用途間でエネルギー融通を行い、エネルギー利用を効率化するため、多様な用途の複合化の誘導等により、環境負荷低減と活力・にぎわいの創出を両立できる開発を促進する。
- ・エネルギーの有効活用に当たっては、エネルギーの需要家や供給者を含め、関係者が多岐にわたることから、その調整を図ることが重要である。まちづくりの計画の初期段階において、エネルギーの有効活用を促進するための方針を自治体が策定するなど、事業者の取組を促す環境整備を行うことで、都市の低炭素化を積

極的に推進する。

- ・拠点形成に際し、自立分散型の発電施設の立地を促進するとともに、再生可能エネルギーを蓄電池とともに積極的に導入しながらエネルギーの安定的な供給と事業継続性の確保を図る。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの設置に当たっては、都有施設で率先して導入するとともに、周辺環境との調和に十分配慮し、建築物の屋根、駐車場の上部空間など、都市の様々な場所を活用する取組を促進する。

②環境に優しい建築物の普及に関する方針

- ・エネルギー性能評価に重点を置き、「東京都建築物環境計画書制度」にゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）等、ゼロエミッションの考え方を取り入れ、活用することなどにより、省エネルギービルの普及を促進する。
- ・環境性能の高い建築物が不動産市場で評価されるよう、ラベリング制度の充実強化を図る。
- ・家庭でのエネルギー利用の高度化を推進するため、家庭用燃料電池や太陽光発電、エコハウスなどの普及とともに、IoTやAIなどの先端技術を活用する。

③環境負荷の少ない交通体系の形成に関する方針

- ・圏央道などの広域交通ネットワークの整備による、交通の円滑化、道路と鉄道との立体交差化の推進、交差点改良の推進などにより交通渋滞を解消し、都市全体でCO₂排出量を削減する。
- ・鉄軌道の乗換利便性の向上、バス運行サービスの向上などにより、公共交通ネットワークの整備・充実を図る。
- ・歩行者、自転車、自動車のそれぞれが安全で快適に行き交うことができる道路空間を確保するとともに、環境負荷の少ない交通手段として見直されている自転車や、環境性能が高い電気自動車などゼロエミッションビークルの更なる利用促進を図る。

④CO₂吸収源となる緑の保全・創出に関する方針

- ・CO₂の吸収源である既存の緑を保全するとともに、都市計画公園・緑地の整備及びまちづくりと併せた緑の保全や創出を推進する。

(4) ヒートアイランド現象の緩和に関する方針

- ・ヒートアイランド現象を緩和するため、建築設備から排出される人工排熱の低減、熱の有効利用による都市排熱の低減、公園・緑地の整備、建築物や敷地などの緑化を促進するとともに、道路の遮熱性舗装や保水性舗装の整備などの対策を推進する。

- ・ 荒廃した森林については、針葉樹と広葉樹の混交により生物の生息空間を再生するとともに、間伐などにより健全な森林へ回復させ、水源の涵（かん）養、CO₂ 吸収など、森林の公益的機能の向上を図る。

（５）循環型社会の形成に向けた方針

- ・ 廃棄物の 3R・適正処理を促進させて、サプライチェーン全体を視野に入れた持続可能な資源利用を推進する。

6 四季折々の美しい景観形成(都市景観に係る主要な都市計画に関する方針)

(1) 景観の形成に関する基本的な方針

- ・東京が高度に成熟した都市として、ゆとりある公共空間の創出などを推進するとともに、開発に際し、3D都市モデルの活用による景観シミュレーションを行う等、AIやICTなど先端技術も活用しながら周辺環境と調和の取れた景観を形成する。
- ・東京都景観計画等により、東京都全体として美しく風格のある都市景観の形成や魅力のある拠点の景観形成を図る。
- ・東京全体から見て、特に景観構造の主要な骨格となっている地域や、共通の景観特性を持ち、ある一定の広がりを持った地域を景観基本軸等として定め、広域的に調和の取れた景観の形成を図る。
- ・市町においては、東京都景観計画との整合を図りつつ、地域特性を生かしたよりきめ細かな取組を行うこととする。
- ・歴史的価値の高い建築物や庭園などの保全、景観基本軸における景観誘導等により、魅力的な景観を形成するとともに、江戸、明治、大正、昭和など、それぞれの時代の雰囲気を感じられる街並みの保全・再生やものづくりなどの伝統的な地場産業や生活文化の価値を高めるまちづくりを誘導する。
- ・開発の機会等を捉え、歴史的建造物や土木遺産、江戸文化などの保全を図るとともに、質の高い建築デザインを誘導する。

(2) 武蔵野の面影と調和した景観の形成に関する方針

- ・柳瀬川・野火止用水・黒目川・落合川沿いなどでは雑木林が残され、農地とあいまって武蔵野の原風景をとどめており、地区計画などを活用し、その保全と継承を図る。合わせて、ゆとりあるみどりを背景とした、潤いのある住宅市街地を形成する。
- ・武蔵野台地を流れる用水の清流やみどり、五日市街道・鈴木街道・青梅街道・東京街道沿いに連なる屋敷林などの自然環境を維持・保全し、水と緑のネットワークを形成する。
- ・江戸時代に造られた土木遺産としての歴史的価値を持つ玉川上水は、その周辺地域に存在する社寺やまとまった雑木林とともに、地域のまちづくりの中で生かしていく。さらに、農地や屋敷林とも関連させてネットワーク化を図るなど、地域の生活に密着したみどり豊かな景観形成を進める。
- ・野川沿いの国分寺崖線や仙川沿いの崖線などでは、緑や特徴ある地形が連続し、湧水も見られる。これらは貴重な自然環境であり、地域の原風景ともいべき景観を形成しているため、可能な限り維持・保全する。
- ・調布保谷線などの幹線道路や河川の整備に併せて、既存の公園や武蔵野の特色である湧水、農地、雑木林、河川沿いの緑地などを活用し、多摩川及び荒川をつなぐ水と緑の骨格を形成する。これにより、幹線道路や河川周辺的生活環境の質の

向上などを図り、活気ある街並みとみどり豊かな空間を形成する。

- ・文化財庭園等景観形成特別地区である殿ヶ谷戸庭園は、回遊しながら眺望を楽しむことのできる魅力ある歴史的な景観資源となっており、庭園内部からの眺望を意識した景観を誘導することにより、庭園などの魅力の向上を図る。
- ・農地や屋敷林のある景観は、人々が長い年月をかけて育んできた貴重な資源であるため、市街地の中で農地や屋敷林が比較的残った地域においては、その一体となった風景を保全・育成していく。

(3) 丘陵地のみどりと調和した景観の形成に関する方針

- ・東京における景観構造の主要な骨格を形成している景観基本軸（丘陵地景観基本軸、玉川上水景観基本軸及び国分寺崖線景観基本軸）については、特色ある自然や地形を保全するとともに、これらと調和した良好な景観の形成を推進する。
- ・雑木林や農地、湧水池の多い地域を通る南北の軸など、東京を特徴付ける景観が連続している景観基本軸（多摩川軸、武蔵野軸及び山岳軸）については、特色ある自然や地形と調和した良好な景観を誘導する。

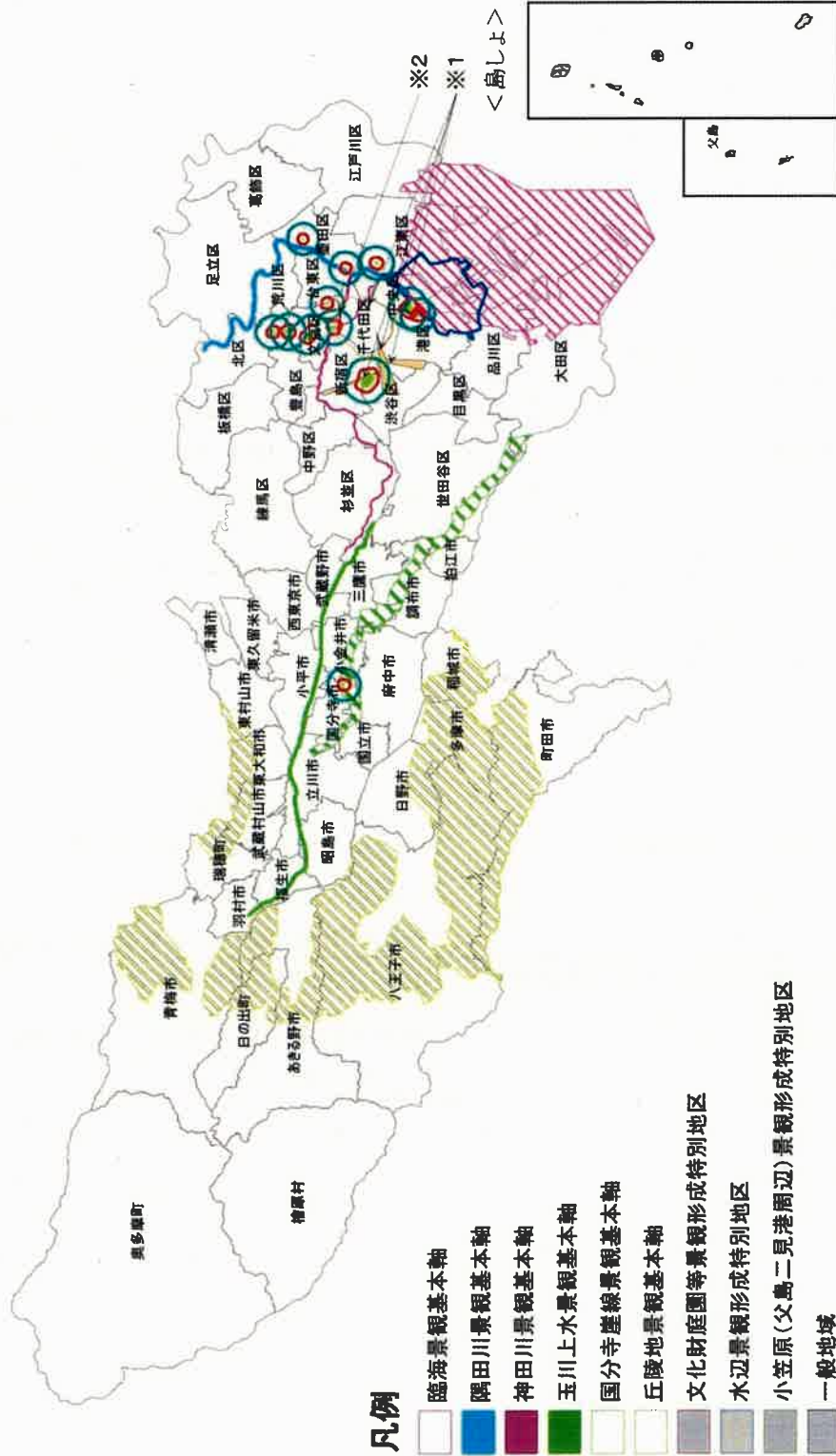
(4) 都市づくりと連携した景観の形成に関する方針

- ・中核的な拠点及びその周辺や鉄道駅周辺では、業務・商業など多様な機能と中高層住宅が複合した、ゆとりとにぎわいが感じられる市街地の景観を形成する。
- ・都市開発諸制度などを活用した建築計画については、大規模で周辺の景観に与える影響が大きいことから、東京都景観条例に基づく事前協議制度により、良好な景観の形成に資するよう適切に誘導する。
- ・府中所沢線や新青梅街道などの幹線道路の整備とともに、地元市などにより沿道のまちづくりが進められている地域で、土地利用が更新される機会を捉えた地区計画の活用などにより、沿道の緑化を誘導し、広がりや厚みのあるみどりを形成する。道路空間と沿道の土地利用が調和した、みどり豊かで一体感のある街並みを形成する。
- ・東京外かく環状道路の中央ジャンクション（仮称）周辺では、市との連携の下、農のある風景を保全する。
- ・街並み景観の形成を図る区域は、地区計画、景観地区などを活用し、建築物や屋外広告物に関する形態・意匠、色彩の基準、高さ制限などを定め、地域の特性を生かした景観の形成を図る。
- ・東京の歴史・文化を代表する地区などにおいて、地域の自主的な街並み景観づくりの取組を支援し、魅力のある街並み景観を誘導する。また、歴史的建造物などを中心に、歴史的な雰囲気が残された街並みを保全するため、東京都景観計画との整合を図りつつ、地域の特性を生かした歴史的景観の形成を推進する。
- ・道路、橋梁(りょう)、河川、公園などの公共事業においては、「公共事業の景観づ

くり指針」により、良好な景観を備えた都市づくりを進めていく。

- ・中核的な拠点や活力とにぎわいの拠点、地域の拠点など、多くの人が利用し、まちの顔となる道路において無電柱化を加速し、良好な景観形成や回遊性の向上、バリアフリー化を促進する。
- ・夜間の景観は、品格や落ち着きを持った明るさを抑制すべき地区、夜のにぎわいや活気を演出する地区など、土地利用の特性に応じた照明により、都市全体の夜間景観にメリハリを付け、ダイナミックな都市構造を光で表現する。
- ・また、長い歴史の中において形成されてきた各地域は、その形成時期により景観特性も異なるため、景観特性に応じた照明により、地域の個性を生かしていく。

景観基本軸・景観形成特別地区等位置図



※ 本図は、おおむねの区域を示したものである。

Ⅱ 輝かしい東京の実現に向けた主な計画 (主要な都市施設などの整備目標)

主要な都市計画の決定の方針を踏まえ、関係機関などとの調整を図りながら実施していく。おおむね10年以内に整備を予定している主な事業は以下のとおりである。

なお、地域に根ざした事業については、関係機関と調整を図りながら、区市町村マスタープランなどで定めるものとする。

<都市施設>

○交通施設

整備内容	整備目標
東京外かく環状道路及び圏央道の整備率（首都圏全体）	東京外かく環状道路：58%（2019年度末） →早期開通に向け整備を促進 圏央道：89%（2018年度末）→100%（2030年度末）
東京外かく環状道路のジャンクションなどの周辺地区（三鷹市、調布市）	市街地整備に向けた検討及び調査を進める。
南多摩尾根幹線	・多摩市聖ヶ丘五丁目～南野三丁目間 2025年度供用開始予定 ・稲城市百村～多摩市聖ヶ丘五丁目間 2029年度供用開始予定
リニア中央新幹線の整備	名古屋までの開業（2027年） 大阪までの開業（2045年） ※国の財政投融资により最大8年前倒し
東京圏の鉄道のピーク時平均混雑率	165%（2014年）→150%（2030年）
連続立体交差事業	西武新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）
駅施設におけるエレベーターなど段差解消の整備率	必要な駅において100%（2030年）

○河川

整備内容	整備目標
時間最大75ミリ、65ミリの降雨に対する河道、調節池などの整備	環状第7号線地下広域調節池等8施設の整備

<都市防災>

○水害に強い都市づくり

整備内容	整備目標
対策強化流域における流域対策	時間 6 ミリ降雨相当分の雨水流出抑制を実現 (2024 年)

<自然的環境の整備又は保全>

○公園などの整備

整備内容	整備目標
一人当たりの公園緑地など（都市公園、条例公園 など）の面積	おおむね 10 m ² （都全体）

おおむね 10 年以内に整備する主な都市計画公園・緑地	
東京都事業	滝山公園、平山城址公園、野山北・六道山公園、中藤公園、 観音寺森緑地、東大和緑地、小金井公園、武蔵野公園、神代公園、 小山田緑地、大戸緑地、六仙公園、東伏見公園、小田良谷戸公園 など
市事業	片倉城跡公園、七国公園、天合峰公園、川越道緑地、 東大和狭山緑地、薬師池西公園、三輪緑地、薬師池北緑地、 香山緑地、野津田公園、林間公園、豊田第一公園、西平山公園、 七ッ塚公園、北川原公園、稲荷緑地、根方谷戸公園、奥畑谷戸公園 など

人が輝く東京の個性ある地域づくり（特色ある地域の将来像）

拠点や主な生活の中心地などの将来像について以下に示す。

（１）新都市生活創造域

地域	将来像
武蔵野都市 計画区域	<p>（吉祥寺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個性的な店舗や飲食店、商店街、大規模店舗などの商業施設を中心に、業務、医療、文化・交流施設など様々な機能が集積し、都内でも有数のにぎわいが創出された回遊性が高い枢要な地域の拠点を形成 ・ 周辺では、井の頭恩賜公園のほか住宅地のみどり豊かな環境とゆとりある街並みを維持し、様々な世代が安心して住み続けられる高質な住環境を形成 <p>（武蔵境）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の有効活用により、商業等の生活利便施設が集積し、南北一体のにぎわいや交流の生まれる枢要な地域の拠点を形成 ・ 周辺では、残された農地が保全・活用され、みどり豊かな都市景観と調和したゆとりある住環境を形成
武蔵野都市 計画区域 ・ 三鷹都市 計画区域	<p>（三鷹）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺では、市街地整備や商業などの活性化に加え、民間施設を活用した誘導策として産業の集積を推進し、情報・通信関連産業、アニメーション・コンテンツ関連産業などが集積した枢要な地域の拠点を形成するとともに、玉川上水の環境を生かした市の玄関口として良好な景観を形成 ・ 駅北口周辺では、日常生活を支える商業・業務機能と都市型住宅が調和した土地利用により複合市街地を形成し、枢要な地域の拠点にふさわしい街並みや歩行空間を創出するとともに、周辺の住宅地では、みどり豊かでゆとりある住環境を維持・保全 ・ 駅南口周辺では、土地の高度利用の誘導により、広場や歩行空間などの整備による回遊性のある市街地や、商業などの活性化による魅力と個性にあふれた中高層市街地を形成
三鷹都市 計画区域	<p>（三鷹台）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業の活性化に配慮しながら安全で快適な歩行空間などが整備され、市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間として生活の中心地を形成 ・ 都市基盤の整備に併せ、住宅や商店街などと調和した都市機能の立地が進み、良好な住環境を創出 ・ 木造住宅密集地域の改善を図り、地域特性を生かした安全・安心なまちを形成 <p>（井の頭公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺では、井の頭公園の玄関口として、みどり豊かな自然環境や良質な住宅地に囲まれた特性を生かしながら、周辺環境と調和した地域に親しまれる商店

<p>三鷹都市 計画区域</p>	<p>街を維持した生活の中心地を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅密集地域の改善を図り、地域特性を生かした安全・安心なまちを形成 (外環道・東八道路インターチェンジ(仮称)周辺、東八道路沿道) ・外環道・東八道路インターチェンジ(仮称)周辺、東八道路沿道東部エリアにおいては、都市基盤の整備に併せ、住宅や農地などと調和した都市機能の立地が進み、良好なみどり空間を創出 ・東八道路沿道西部エリアにおいては、業務・産業や商業などの施設が集積し、住環境と調和した市街地を形成
<p>府中都市 計画区域</p>	<p>(府中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺では、商業、業務、文化機能などの集積により中心市街地を活性化し、地域のシンボルとなっている大國魂神社や馬場大門のケヤキ並木との調和がとれた、ゆとりとにぎわいのある枢要な地域の拠点を形成 ・府中本町駅周辺では、バリアフリー化などの整備や歴史・文化資源などの活用により府中駅との間の回遊性を向上させ、商業、業務、文化機能などが集積し、歴史とみどりの調和した魅力的な市街地を形成 <p>(東府中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、商業、業務、文化、居住機能などが集積するとともに、鉄道沿線のまちづくりと連携した鉄道立体化を見据えながら、商店街や府中の森公園を中心としたにぎわいのある利便性の高い快適な生活の中心地を形成 <p>(多磨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、交通広場や道路の整備が進み、更なる基盤整備を行うことにより、交通機能が向上するとともに、住宅、教育施設や公園と調和した土地利用が図られ、商業、業務、居住機能などが集積することにより、みどりと良好な景観に恵まれた魅力ある利便性の高い生活の中心地を形成 <p>(多磨霊園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、道路などが整備され、交通機能が向上するとともに、にぎわいある商店街づくりが図られることにより、商業、居住機能などが調和した落ち着いた落ち着いた利便性の高い生活の中心地を形成 <p>(是政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、生活サービス、居住機能などが集積するとともに、郷土の森公園を中心とするレクリエーション機能や、多摩川や緑道などの水辺とみどりに恵まれた周辺環境を生かした快適で魅力的な生活の中心地を形成 <p>(白糸台・武蔵野台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両駅周辺では、道路などが整備され、交通機能が向上し、両駅間のアクセス性を改善することにより、生活サービス、居住機能などが調和した落ち着いた落ち着いた利便性の高い生活の中心地を形成

府中都市 計画区域	(北府中)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、道路などが整備され、交通機能の向上が進むとともに、にぎわいある商店街づくりが図られることにより、生活サービス、居住機能などが集積した落ち着いた生活の中心地を形成
	(多摩メディカル・キャンパス周辺)	<ul style="list-style-type: none"> ・高次の医療・福祉機能を中心とし、商業、居住機能などが集積した生活の中心地を形成
	(府中基地跡地)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用計画に基づき、「緑豊かなまち」や「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」など市の持つブランドイメージを一層高めるとともに、市の新たな魅力を創出する生活の中心地を形成
調布都市 計画区域	(調布)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に広場空間や歩行者空間が充実し、回遊性と利便性が高まるとともに、土地の有効活用により商業施設や高質な住宅が集積するなど、利便性が高く魅力的な枢要な地域の拠点形成
	(仙川)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や交通広場、公園、緑地が整備され、駅を中心に商業・業務・芸術・文化・コミュニティ施設の立地が進むとともに、周辺では、ゆとりある生活空間を備えた、良好な都市型住宅が立地する個性的で魅力ある地域の拠点形成
	(深大寺周辺)	<ul style="list-style-type: none"> ・神代植物公園の整備が進むとともに、住民参加のまちづくりの取組により、みどり豊かな自然環境と歴史的風情のある街並みの際立った個性やポテンシャルを有する地域を形成
	(狛江)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺には、日常生活を支える商店街や、文化・交流機能を備えるとともに、多摩川や重要な環境資源である特別緑地保全地区をはじめとする水や緑の保全や拡大、道路などの公共施設の整備が進み、みどり豊かで機能的な地域の拠点形成
	(和泉多摩川)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺には、地域に密着した商店街や大規模な都市計画緑地(和泉多摩川緑地)があり、また、多摩川に至る玄関口として、河川敷を活用したイベント等にも利用されるにぎわいとみどり豊かで良好な生活の中心地を形成
	(多摩川住宅)	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川住宅の大規模な建替え等に当たり、一団地の住宅施設から地区計画への移行により、地域のにぎわいと住み続けられる魅力ある居住機能の向上及び生活空間を確保し、良質な住宅による多様な世代が共生する生活の中心地を形成

調布都市 計画区域	(つつじヶ丘・柴崎周辺) ・都市計画道路の整備や連続立体交差事業を見据え、駅前のにぎわいと周辺のゆとりある住環境を確保するため、都市計画制度を活用した土地利用の規制誘導により、快適な生活の中心地を形成
	(飛田給) ・駅周辺では、日常生活の利便性を高めるため既存商店街の活性化が図られ、地域の核となる魅力ある商業・業務の生活の中心地を形成
	(武蔵野の森地区) ・多摩地域のスポーツ振興の核となるとともに、大規模イベントでの活用や、スポーツ施設・駅周辺への飲食店等の商業施設の立地が進み、にぎわいや交流が生まれるスポーツクラスターを形成
	(京王多摩川) ・駅周辺では、地域に密着した商業集積と居住機能の保全・誘導を図り、地域の商業・生活の核となる生活の中心地を形成
	(布田・国領周辺) ・調布駅を含めた京王線3駅を核とする中心市街地として、商業・業務、文化、居住などの多様な生活機能が調和した魅力的な生活の中心地を形成
	(西調布) ・日常生活の利便性を高める様々な機能が集積し、地域の歴史を生かした、まちの活性化の核となる生活の中心地を形成
小金井都市 計画区域	(武蔵小金井) ・都市基盤の整備が進み、回遊性が向上するとともに、商業、公共・公益施設、居住などの機能が集積した、にぎわいのある枢要な地域の拠点を形成
	(東小金井) ・駅北口周辺では、土地区画整理事業による市街地の再編が進み、周辺の道路、公園などが整備され、拠点性の向上が図られ、まちの玄関口にふさわしい、しゅれた雰囲気を持つ魅力のある商業地を形成するとともに、小金井公園などの公園のみどりや水辺に恵まれた周辺の環境を生かし、みどり豊かな落ち着いたきのある地域の拠点を形成
小平都市 計画区域	(花小金井) ・駅周辺は、都市基盤の整備や土地の有効活用が進み、商業、公共・公益施設等の機能が集積し、地域資源や周辺企業などとの連携・調和により、にぎわいや交流が育まれる地域の拠点を形成 ・駅周辺では、都市計画道路の整備により、土地の有効利用が図られるほか、鉄道立体化の実現に向けた検討が進み、業務や商業面において均衡の取れた魅力ある空間づくりが進展 ・駅北口周辺では、商業施設が充実するとともに、中高層の住居が配置されるな

<p>小平都市 計画区域</p>	<p>ど高度利用が図られた利便性の高い複合的な市街地を形成</p> <p>(小平)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は、都市基盤の整備や土地の有効活用が進み、商業、公共・公益施設等の機能が集積し、地域資源や周辺企業などとの連携・調和により、にぎわいや交流が育まれる生活の中心地を形成 ・駅周辺では、幹線道路や緑道がつなぐ潤いのある環境と、文化・交流施設の立地を背景に、市の玄関口にふさわしい回遊性の高い魅力的なまちを形成 ・駅北口周辺では、駅前の高度利用が図られ、交通広場や道路など都市基盤の整備のほか、関係事業者による踏切対策が進み、商業の拠点を形成するとともに、周辺市と連携した市街地を形成
	<p>(小川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は、都市基盤の整備や土地の有効活用が進み、商業、公共・公益施設等の機能が集積し、地域資源や周辺企業などとの連携・調和により、にぎわいや交流が育まれる生活の中心地を形成 ・駅周辺ではみどりの潤いのある環境と、多くの文教・福祉施設の立地を背景に、あらゆる人々がゆとりを持って都市生活を送ることができる生活空間を形成 ・駅西口地区では、駅前の高度利用が図られ、交通広場や道路など都市基盤の整備が進み、商業の拠点を形成するとともに、駅東口地区との一体性のあるまちを形成
	<p>(農地と調和する住宅市街地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野の原風景が残る雑木林や農地といった、まとまったみどりが保全されるとともに、農地の多様な機能を生かした農と住とが調和した、水と緑と潤いがあるまちを形成 ・地産地消の取組や、農とのふれあいなど、農地を生かした地域の活性化等により、農地を保全し、美しい農のある風景を形成 ・市街地の中に存在する農地を防災上必要なオープンスペースとしても活用するとともに、生産緑地の維持に極力努め、適正に保全 ・やむを得ず農地が宅地化される場合は、良好な住宅環境の形成に役立てるような計画的な開発の誘導を行うとともに、地区計画制度や開発事業における手続・基準などに関する条例などの活用により、乱開発を防止し、緑を保全
<p>国分寺都市 計画区域</p>	<p>(国分寺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤の整備や、商業、文化、居住などの集積が進み、利便性が高くにぎわいのある生活と文化交流が育まれる枢要な地域の拠点を形成 ・駅北口周辺では、交通広場、都市計画道路、区画道路の整備により交通結節点としての機能が強化され、再開発事業の進行に伴って、商業、業務、居住などの機能が集積することにより、地域の利便性が向上し、歴史や自然と調和した地域の顔となる拠点を形成

国分寺都市 計画区域	(西国分寺)	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤の整備や、商業、文化、居住、災害対策拠点などの集積が進み、利便性が高くにぎわいのある生活と文化交流が育まれる地域の拠点を形成 駅周辺では、交通機能の充実が図られるとともに、周辺の史跡や緑地などと調和したみどり豊かな市街地を形成
	(恋ヶ窪)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺では、都市計画道路の整備を契機に、生活関連の商業施設、周辺に立地する行政、文化、福祉などの公益施設及び公園や農地などの自然環境が調和した、一体感のある生活の中心地を形成
	(国分寺崖線)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の中に残る貴重な自然環境として、四季折々の美しい緑や水が適切に保全され、憩いや教育の場として活用
	(農地と調和する住宅市街地)	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野の原風景が残る雑木林や農地といった、まとまったみどりが保全されるとともに、農地の多様な機能を生かした農と住とが調和した、水と緑と潤いがあるまちを形成 地産地消の取組や、農とのふれあいなど、農地を生かした地域の活性化等により、農地を保全し、美しい農のある風景を形成 市街地の中に存在する農地を防災上必要なオープンスペースとしても活用するとともに、生産緑地の維持に極力努め、適正に保全 やむを得ず農地が宅地化される場合は、良好な住宅環境の形成に役立てるような計画的な開発の誘導を行うとともに、地区計画制度や開発事業における手続・基準などに関する条例などの活用により、乱開発を防止し、緑を保全
東村山都市 計画区域 ・ 西東京都市 計画区域	(ひばりヶ丘)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺では、商業を中心とした機能の集積や、安全で快適な歩行者空間の創出により、利便性が高くにぎわいのある地域の拠点を形成
	(ひばりが丘団地)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模団地周辺では、地域主体の活動が活発に行われ、魅力的で交流が生まれる生活の中心地を形成
東村山都市 計画区域	(東久留米)	<ul style="list-style-type: none"> 商業や生活サービス機能が強化されるとともに、行政、文化・交流施設などが立地した、にぎわいと活力のある地域の拠点を形成
	(清瀬)	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤の整備に併せて土地の有効活用が進み、商業や健康・医療・福祉施設等が集積し、にぎわいのある地域の拠点を形成 駅南口周辺では、都市計画道路と交通広場の整備促進により、にぎわいの元に

東村山都市 計画区域	なる交通利便性が向上
	<p>(秋津)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋津・新秋津駅周辺では、交通広場や道路網などの都市基盤整備と併せ、情報、文化、商業、業務、交流、福祉、居住などの多様な機能が集積した、安全で利便性の高い地域の拠点を形成 <p>(農地と調和する住宅市街地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野の原風景が残る雑木林や農地といった、まとまったみどりが保全されるとともに、農地の多様な機能を生かした農と住とが調和した、水と緑と潤いがあるまちを形成 ・東京産農産物の地産地消の取組や、農とのふれあいなど、農地を生かした地域の活性化等により、農地を保全し、美しい農のある風景を形成 ・市街地の中に存在する農地を防災上必要なオープンスペースとしても活用するとともに、生産緑地の維持に極力努め、適正に保全 ・やむを得ず農地が宅地化される場合は、良好な住宅環境の形成に役立てるような計画的な開発の誘導を行うとともに、地区計画制度や開発事業における手続・基準などに関する条例などの活用により、乱開発を防止し、緑を保全
西東京都市 計画区域	<p>(保谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅南口周辺では、安全な歩行空間が確保されるとともに、日常生活を支える地域に密着した既存商店街の活性化が図られたにぎわいのある地域の拠点を形成 ・駅北側では、都道計画道路沿道での周辺環境と調和した土地利用が進むとともに、みどり豊かな環境の中で良好な住宅地を形成 <p>(田無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、都市基盤の整備と土地の有効活用が進み、商業等の生活利便施設が集積し、にぎわいのある地域の拠点を形成 <p>(東伏見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅南口周辺では、石神井川や東伏見公園、歴史的資源などを生かした水と緑のネットワークを形成するとともに、道路と鉄道の立体交差化や都市計画道路などの整備が進み、生活に密着した商業施設の集積する生活の中心地を形成 <p>(西武柳沢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅北口周辺では、交通広場や道路の整備により、安全で快適な交通機能が充実するとともに、日常生活の利便性を高める商業施設が集積し、にぎわいのある暮らしやすい生活の中心地を形成

(2) 多摩広域拠点域

地域	将来像
八王子都市 計画区域	<p>〔八王子〕</p> <p>○鉄道や道路などの広域的な道路・交通ネットワークを生かし、商業、業務・産業、福祉、教育・文化、居住などの多様な機能が高度に集積し、イノベーションが生まれ続ける活力のある中核的な拠点を形成</p> <p>○周辺地域では、大規模な住宅団地の建替えや機能更新などが進み、生活利便機能の整った市街地を形成</p> <p>(八王子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR八王子駅北口と京王線八王子駅周辺の一体的な整備が進み、商業・業務、産業、文化・交流、都域を越えた産学・産産連携を促進する産業交流機能、医療・福祉、教育、居住機能等が集積した地区を形成 ・八王子駅南口周辺では、市街地の更新が進み、商業、文化、居住などの多様な機能とみどりや水辺が調和した地区を形成し、特に八王子医療刑務所跡地では、学びや交流とともに防災性の向上に資する新たな集いの機能を誘導 <p>(西八王子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の更新やリノベーションにより、商業、業務、文化、医療・福祉、居住機能などが集積した拠点を形成
	<p>(八王子みなみ野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、業務、商業、医療・福祉、教育などの生活機能の集積が進み、周辺のみどり豊かな丘陵地の自然環境や景観と調和した地域の拠点を形成
	<p>(高尾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の商業・業務系施設とその周辺の住宅地とが調和し、地域の日常生活における活動や交流の中心としての地域の拠点を形成 ・駅及びその周辺では、観光拠点及び交通結節点として、交通広場や南北自由通路の整備及び橋上駅舎化が促進され、地域活性化が図られるとともに、安全かつ快適な歩行空間を形成 <p>(めじろ台・狭間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めじろ台・狭間駅周辺では買い物を中心とした生活利便機能の強化を進めて、周辺の住環境と調和した生活の中心地を形成 <p>(高尾山周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部からのアクセス性や自然、文化・歴史的資源、景観を生かし、国内外から多くの観光客が集まり、にぎわいと交流の生まれる魅力的な際立った個性やポテンシャルを有する地域を形成

八王子都市 計画区域	(北野)
	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路と鉄道との交通結節点である駅周辺では、国道20号八王子南バイパス、日野バイパスの整備により、交通結節点としての機能が一層強化され、沿道とともに商業・業務・医療・福祉・公共・公益施設など生活利便機能の集積が進み、周辺の住環境と調和した生活の中心地を形成 ・周辺の工業地においては、公共施設の再編と合わせて、既存産業の振興とともに、産業構造の変化に対応して生産から研究開発に向けた機能更新も進み、産業及び自然が調和した、活力ある市街地を形成
	(京王堀之内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、高度に整備された都市基盤や、緑地空間にふさわしく、また地域住民の生活利便性の維持・向上のために適正な商業・業務・医療福祉系施設が配置され、地域の活動や交流の中心としての生活の中心地を形成するとともに、引き続き良好な住宅地としての環境を保全
	(北八王子)
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、優れた都市基盤を生かし、大学・研究機関などと連携した研究開発機能の充実・高度化が図られるとともに、高速道路へのアクセス道路の整備などにより、利便性の高い良好な工業生産・研究開発環境を擁する市街地を形成 	
(四谷・櫛原・小田野)	
<ul style="list-style-type: none"> ・陣馬街道と高尾街道が交わる四谷周辺では、交通結節機能を生かし、公共交通の利便性向上による、拠点間の連携強化を図るとともに、商業や医療、福祉などの生活利便機能の強化が進み、周辺の住環境と調和した生活の中心地を形成 ・秋川街道と高尾街道が交わる櫛原周辺と陣馬街道沿道の小田野周辺では、買い物を中心とした生活利便機能の強化を進めて、生活の中心地を形成 	
[多摩ニュータウン]	
<ul style="list-style-type: none"> ○みどり豊かで高質な住環境、リニア中央新幹線駅へのアクセス利便性、大学の集積などを生かし、多様なイノベーションが創出され、生活を支える機能が充実した持続可能な市街地を形成 ○高度に整備された都市基盤を生かし、業務、商業、文化などの諸機能が集積するとともに、情報関連産業、コミュニティビジネスなど幅広いサービスを提供できる中核的な拠点を形成 ○円滑な建替えや改修により、高経年化した団地やマンションの計画的な再生が進み、市民のニーズに対応した、次世代に住み継がれる良質な住宅ストックを形成 ○駅及びその周辺については、低未利用地を活用して都市型複合住宅の建設が促進されるなど土地の高度利用が図られることで、利便性が高く、活力と潤いある住環境を備えた市街地へと再生 	

八王子都市 計画区域	<p>○建築物の高さ制限などにより、緑豊かなゆとりある住環境が維持、形成されるとともに、丘陵地の地形を生かしたメリハリのある都市空間を形成 (南大沢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学周辺に海外の技術者や留学生向けの居住施設が立地し、駅周辺では、多摩センター駅周辺地区と連携し、商業や医療・福祉機能などの複合的な都市機能や外国人にも対応した生活利便施設が集積し、国際性豊かな拠点を形成 ・高度に整備された都市基盤や緑地空間により良好な住宅地や緑地景観の保全が図られるとともに、鑑水周辺をはじめ、駅周辺及び幹線道路沿道の大規模画地などにおいては、既存の環境と調和した商業・業務機能、防災機能を有する市街地を形成 ・所有地等を活用して、東京都立大学や民間企業と連携し、先端技術等を取り入れたまちづくりを推進
	<p>(圏央道インターチェンジ周辺・中央道八王子インターチェンジ～新滝山街道沿道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術産業やものづくり産業、流通業務機能など、広域道路ネットワークを生かした業務・産業の集積した地域を形成 ・その周辺では、農地の保全や活用が促進され、住と農が調和した市街地を形成 ・中央道八王子インターチェンジ周辺では、周辺の住環境や自然環境との調和に配慮し、優れた交通アクセス機能を生かした流通・商業施設などの立地が促進され、魅力的な生活の中心地を形成 ・あきる野インターチェンジに至る、新滝山街道沿道では、モノづくり産業を主軸に、大規模未利用地などを利用して流通・商業系施設などの立地が促され、周辺の自然環境と調和した魅力的な市街地を形成 ・圏央道八王子西インターチェンジ周辺では、北西部幹線道路の整備を進め、広域的な幹線道路ネットワークを構築し、周辺拠点との連携強化を図るとともに、沿道及び低未利用地を活用して流通業務機能などが集積する拠点を形成 ・川口地区においては、流通業務機能などの集積に加え、災害時には救援物資などを輸送するための防災拠点として機能する広域産業拠点を形成 ・圏央道高尾山インターチェンジ周辺では、国道20号八王子南バイパスの整備を進め、広域的な幹線道路ネットワークを構築するとともに、自然、文化・歴史的資源、景観を生かし、にぎわいと交流の生まれる魅力的な地域を形成 ・市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、市街地を形成
	<p>(産業と住宅と自然が調和する地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業の大規模な工場や研究所、国の研究機関、大学などの集積と連携が進み、地域内や他地域との交流が活性化され、多様なイノベーションが創出され続ける地域を形成 ・産業の形態に応じた適切な立地が進み、産業と居住や自然が調和した活力のあ

八王子都市 計画区域	<p>るまちを形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備により、交通渋滞が緩和されるとともに、防災性や安全性の高いまちを形成
立川都市 計画区域	<p>〔立川〕</p> <p>○鉄道や多摩都市モノレールなどの優れた交通結節機能を生かし、公共施設が立地するとともに、商業・業務、医療福祉、文化・交流、教育・研究、サービス、居住などの多様な機能が集積する中核的な拠点を形成</p> <p>(立川)</p> <ul style="list-style-type: none"> 立川駅周辺では、鉄道や多摩都市モノレールなどの優れた交通結節機能を生かし、公共施設が立地するとともに、業務・産業、商業、文化・交流などの多様な機能が高度に集積し、国内外の人々の活発な活動や交流が行われ、イノベーションが生まれ続ける拠点を形成 立川駅周辺では、自由通路や歩行者デッキなどの整備により、安全で回遊性・利便性のある歩行者ネットワークを形成 立川駅周辺では、老朽化が進む民間建築物の共同化などの計画的な建替えにより高度利用を促進 <p>(西立川)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核的な拠点の外側では、日常生活を支える商業施設等を備え、周辺のみどり豊かな環境と住宅などとの調和の取れたうるおいのある生活の中心地を形成 <p>(西国立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路と鉄道との立体交差化に併せ、交通広場の整備など駅周辺のまちづくりが進められ、日常生活を支える生活・文化・交流・医療福祉等の機能が集積した利便性の高い生活の中心地を形成 西国立駅と周辺地域や立川駅南口とを結び付ける歩行者ネットワークの軸を形成 <p>(武蔵砂川)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅舎改良と交通広場の整備や駅周辺の都市計画道路などの基盤整備により、フィーダー交通の導入が進み、駅と主要施設間のアクセスが強化された日常生活を支える生活の中心地を形成 駅北側の地域では、保全された農地と住宅地及び工場が調和した市街地を形成 大規模工場跡地地区では、商業、文化、産業などの多様な機能が調和した、にぎわいと活力ある複合的な市街地を形成 <p>(玉川上水)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩都市モノレールの延伸や都市計画道路の整備など、将来の交通ネットワークの拡充を見据え、交通結節機能を活用した、にぎわいと魅力のある商業空間など日常生活を支える都市機能の集積に加え、文化・芸術等の地域特性を生かした地域の拠点を形成

立川都市 計画区域	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川上水や都立東大和南公園などのみどりの保全が図られ、みどり豊かな市街地を形成 <p>(本町・榎地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の円滑化及びネットワーク強化を図るため、新青梅街道の拡幅が進められるとともに、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸を見据えた、大規模工場跡地の土地利用転換や周辺のまちづくりによって、商業、住宅、行政サービスなどの多様な都市機能の集積が図られることにより、交通利便性が向上し、活力とにぎわいのある生活の中心地を形成 <p>(東大和市駅周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、商業・業務系施設の立地を誘導し、市の玄関にふさわしい、にぎわいのある生活の中心地を形成 <p>(緑が丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新青梅街道の拡幅が進められるとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据えた土地利用転換や沿道のまちづくりと大規模な都営住宅団地等の建替えが進み、創出用地の活用により、商業、医療、福祉等の生活利便機能の整った生活の中心地を形成 <p>(住宅と農地が調和する地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五日市街道を中心とした保全された農地と低層住宅地が広がる地域では、両者が調和した良好な居住環境と営農環境を形成
立川都市 計画区域 ・ 昭島都市 計画区域	<p>(立川基地跡地など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩都市モノレールに沿った都市軸線の沿道地域では、業務、商業、医療福祉、文化、交流、教育などの多様な機能の集積が進み、にぎわいと活気のある市街地を形成 ・立川基地跡地昭島地区では、国等の広域的な機能及び業務・商業・交流・居住機能などの導入が進み、にぎわいと活気があふれ、国営昭和記念公園の緑の活用や、一体的な公園・緑地、公共施設及び環境保全用地の整備により、環境や景観に配慮された、質の高い都市空間を形成 ・立川市役所周辺地域の立川基地跡地西側地区では、広域防災基地や国営昭和記念公園などの周辺環境を踏まえ、運動公園などの公共施設の整備が進展 ・立川市役所周辺地域の砂川中央地区では、国有地の活用が進み既存の住宅地との調和が図られながら、低層住宅を中心としたみどり豊かな住環境を形成 ・立川市役所周辺地域の立川基地跡地東側地区及び富士見町地域は、市街地整備の見通しが明らかになった段階で、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成 ・立飛駅周辺の大規模な民有地では、周辺の住環境に配慮した市街地を形成 ・多摩川、玉川上水、農地、公園や緑地などと調和し、安らぎを感じることのできる、質の高い緑豊かな住環境を形成

立川都市 計画区域 ・ 昭島都市 計画区域	<p>(西武立川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口周辺では、駅北口の開設などを契機に基盤整備を行い、保全された農地と住宅地とが調和したゆとりある日常生活を支える生活の中心地を形成 ・南口周辺では、玉川上水と連携した水と緑のネットワークを形成し、みどり豊かで潤いのある快適な住環境を形成するとともに、日常生活を支える商業機能等の導入、活用により、利便性の高い生活の中心地を形成
立川都市 計画区域 ・ 福生都市 計画区域	<p>(新青梅街道沿道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新青梅街道の拡幅等により、交通ネットワークの強化が図られ、交通利便性が向上するとともに、沿道において商業や業務などの立地が進み、利便性の高い良好な住宅市街地を形成 ・大規模な都営住宅団地等の建替えが進み、生活利便機能の整った良好な住環境を形成 <p>(狭山丘陵～多摩湖)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭山丘陵の広大なみどりと多摩湖の水辺空間を生かした水と緑のネットワークにより、良好な市街地を形成 ・公園・緑地や街路樹の整備推進と合わせ、民間の協力を得て、みどりの拡充や質の向上を促進 <p>(産業と住宅と自然が調和する地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業の大規模な工場や研究所、国の研究機関、大学などの集積と連携が進み、地域内や他地域との交流が活性化され、多様なイノベーションが創出され続ける地域を形成 ・産業の形態に応じた適切な立地が進み、産業と居住や自然が調和した活力のあるまちを形成 ・都市計画道路の整備により、交通渋滞が緩和されるとともに、防災性や安全性の高いまちを形成
青梅都市 計画区域	<p>〔青梅〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青梅、東青梅、河辺の各駅周辺地区では、中心市街地として、商業・業務、文化、サービス機能などが集積し、相互に連携・分担した中核的な拠点を形成 ○各駅をつなぐ東西方向の市街地では、生活環境と調和した業務・商業施設が集積し、複合市街地を形成 <p>(青梅)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい、歩いて楽しい快適な歩行者空間が確保され、旧青梅宿を中心に、歴史と文化などの地域資源を生かした魅力ある観光のまちを形成 <p>(東青梅)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活を支える公共・公益サービスを担う官民の施設が集積し、大規模公有地などを活用した業務・文化・交流機能の充実したまちを形成

青梅都市 計画区域	(河辺)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の総合的な生活支援機能を中心とした、業務、商業、文化、交流、医療などの複合的な機能が集積した活力あるまちを形成
	(黒沢)	<ul style="list-style-type: none"> 採石場跡地では、市街地と近接した立地条件を生かし、雇用を創出する新たな産業を含めた産業集積地を形成 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成
	(青梅インターチェンジ周辺)	<ul style="list-style-type: none"> 既存の工業団地の産業振興やインターチェンジ北側地区の市街地整備により、広域交通ネットワークを生かした産業拠点を形成 インターチェンジ周辺では、自然環境に十分配慮しながら、流通業務機能などが集積する拠点を形成 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成
	(多摩川沿い地域)	<ul style="list-style-type: none"> 青梅・長淵・河辺地区では、既存の市立美術館や郷土博物館、文教施設との連携や、多摩川の河川敷などを活用した自然学習体験機能の導入などにより、文化・芸術活動の拠点を形成
	(分倍河原)	<ul style="list-style-type: none"> 駅及びその周辺では、駅の改良や自由通路、広場、道路の整備などが進み、交通機能が向上するとともに、土地の高度利用が図られ、商業、業務、居住機能などが集積し、拠点機能が充実した利便性の高い、にぎわいと活力のある地域の拠点を形成
府中都市 計画区域	(中河原)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺では、商業、業務、居住機能などが調和した、利便性や回遊性の高い拠点の形成が図られるとともに、多摩川や緑道など、水辺とみどりに恵まれた周辺環境を生かした快適でにぎわいのある生活の中心地を形成
	(西府)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺では、道路などが整備され、交通機能が向上し、商業・業務・文化機能などの集積により、生活利便性が向上するとともに、居住機能と調和したみどり豊かでにぎわいのある魅力的な生活の中心地を形成
	(昭島)	<ul style="list-style-type: none"> 商業・業務施設、教育・福祉施設などの行政サービス機能が多く立地し、商業・業務、産業、教育、福祉、文化、居住、コミュニティなどの多様な機能を備えた、にぎわいと豊かな自然が調和した地域の拠点を形成
昭島都市 計画区域	(昭島)	<ul style="list-style-type: none"> 商業・業務施設、教育・福祉施設などの行政サービス機能が多く立地し、商業・業務、産業、教育、福祉、文化、居住、コミュニティなどの多様な機能を備えた、にぎわいと豊かな自然が調和した地域の拠点を形成

昭島都市 計画区域	(東中神)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅北側には広域的な機能や、業務・商業機能の導入が進み、国営昭和記念公園昭島口へのアクセス動線が整備され、駅南側は運動施設を中心に広域的なスポーツ交流の場となる公園が位置するなど、回遊性、快適性の高い生活の中心地を形成
昭島都市 計画区域	(中神)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅北側は土地区画整理事業の進行に伴い、魅力的な商業・業務地を形成するとともに良好な居住環境を形成し、駅南側は日常生活を支える商業機能を備えた、利便性の高い生活の中心地を形成
昭島都市 計画区域	(拝島)
福生都市 計画区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備された道路や駅前広場を中心に、業務、商業や文化・交流などの機能を備えた、利便性の高い枢要な地域の拠点を形成 ・ 玉川上水や公共緑地などの自然環境と調和したまちを形成
町田都市 計画区域	(町田)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田駅周辺では、リニア中央新幹線駅や多摩都市モノレール町田方面延伸による交通アクセスの充実を見据え、交通結節機能の強化が進み、商業、業務・産業、文化・交流などの機能が高度に集積した、イノベーションが生まれ続ける中核的な拠点を形成 ・ 商業・業務施設、住宅などの既存ストックを生かした機能更新が進み、経済活力と文化発信力に優れ、都市景観に配慮した美しい街並みを持つ中心市街地を形成 ・ 駅と商店街とを有機的に結ぶ、ユニバーサルデザイン化された安全で快適に移動できる歩行者空間整備と自動車のフリッジパーキングの充実により、ゆとりと回遊性の高い市街地を形成 ・ 行政・防災・公安機能の充実が図られるとともに、災害に強い拠点を形成 ・ 東京都心や横浜市、相模原市方面にアクセスしやすい交通条件を生かし、周辺市と連携して、土地の有効高度利用を図りながら都市機能を集積
	(鶴川)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎市と連携した道路や駅前広場の整備により、交通結節機能の強化が進むとともに、商業、文化・交流、居住などの機能が集積した、利便性の高い地域の拠点を形成
(南町田)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通網の結節点である立地特性を生かし、駅前の商業施設と公園を中心に多様な機能が集積し、潤いを感じながら交流が生まれ楽しめる地域の拠点を形成 ・ 駅の南北をつなぐ自由通路などの都市基盤整備により、駅周辺と境川や鶴間公

町田都市 計画区域	園などを結ぶユニバーサルデザイン化された歩行者空間が整備され、アクセシビリティや回遊性の高い市街地を形成
	(多摩境) <ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線から多摩地域への玄関口として、大学や産業機能などの集積を生かし、活発な交流が行われ、イノベーションが創出される生活の中心地を形成
	(相原) <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、町田街道と鉄道との立体交差化など地域の骨格となる道路網の整備と併せて、地域を支える生活機能を誘導するとともに、地域の自然・歴史・文化資源を継承し、活力と魅力ある生活の中心地を形成
	(忠生) <ul style="list-style-type: none"> ・町田・多摩センター間等の交通アクセスの充実を見据え、多摩市・相模原市各方面との結節性を高める交通拠点化を図るとともに、大学や大規模住宅団地等の集積を生かしてにぎわい拠点を創出する生活の中心地を形成
	(木曾山崎) <ul style="list-style-type: none"> ・町田・多摩センター間等の交通アクセスの充実を見据え、バス交通網の再編による交通拠点化や団地内センター機能の更新、老朽化した住宅ストックの再生等を図り、地域内外の交流を促進する生活の中心地を形成
	(鶴川団地) <ul style="list-style-type: none"> ・団地内センターを中心とした施設更新を図ることで、地域内外にとっての商業・コミュニティの拠点として再生するとともに、新たな居住層を呼び込み、持続可能な生活の中心地を形成
	(小野路西部・小山田地域) <ul style="list-style-type: none"> ・既存の生態系など良好な自然環境の維持、継承や農地の保全に配慮しながら、町田・多摩センター間等の交通アクセスの充実による利便性の向上を見据え、活力と交流が生まれる地域を形成 ・市街化調整区域における地区計画等の計画的な活用により、豊かな自然環境や農の風景を生かした観光・交流機能の立地、既存集落地の維持・保全を図り、豊かな里山の原風景が継承される地域を形成
日野都市 計画区域	(日野) <ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤の整備や土地の有効活用が進み、駅を中心に商業、公共・公益などの機能が集積し、甲州街道の宿場町という特徴を生かした利便性の高い地域の拠点を形成し、その周辺では、工業、住宅、自然環境などが調和した複合市街地を形成 ・工業を中心とした産業拠点や産業構造の変化に対応した新しい産業・業務地などとして、地域の特性に応じた活気ある拠点を形成

日野都市 計画区域	(豊田)
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤の整備、市街地の更新や土地の有効活用が進み、商業、公共・公益などの機能が集積し、利便性の高い拠点を形成しており、その周辺では、工業、住宅、自然環境などが調和した複合市街地を形成 ・駅周辺では、都市基盤の整備や更新が図られ、拠点として商業、業務、居住、コミュニティなどの多様な機能を備えた、にぎわいと豊かな自然が調和した生活拠点を形成するとともに、広域的な幹線道路ネットワークの整備により、災害時にも安全・安心な活力のある地域の拠点を形成 ・駅南北の連絡通路の整備、再開発や建築物の共同化などにより、南北地域の一体化が進み、活気ある拠点を形成 ・交通不便区域において、土地区画整理事業により交通利便性の向上が図られ、安全で快適な市街地を形成 ・多摩平の森地区では、医療・福祉連携施設や多様な住宅の整備などにより、誰もがいきいきと交流・活躍でき、住み慣れた地域で居住形態を柔軟に選択できる地域を形成
	(高幡不動)
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、商業、文化・交流、生活サービスなど多様な機能が集積し、利便性の高い地域の拠点を形成 ・寺社や公園などの地域資源を生かし、周辺の観光地との連携が進み、交流が生まれる観光の拠点を形成 ・駅周辺のきょうあい道路の解消や老朽化した公共施設の機能更新が図られ、安全で暮らしやすい市街地を形成
	(日野バイパス沿道)
<ul style="list-style-type: none"> ・大学、企業の研究開発施設、製造業などの連携を促進し、交流を活性化させるネットワークを形成するとともに、商業、業務・産業、医療・福祉などの機能が充実し、職住近接のバランスの取れた市街地として生活の中心地を形成 ・国道20号日野バイパス延伸・八王子南バイパスの整備により、市域を越えた広域的な連携が強化され、地域における交通環境の改善や産業の連携強化が図られるとともに、一体的に施行される土地区画整理事業による計画的な基盤整備と地域の生活に必要な都市機能の立地が両立する市街地を形成 	
(南平)	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の整備やバス等の公共交通の導入、日野市立南平体育館の建替えによる健康・交流・防災機能の強化など、基盤整備と多様な都市機能の導入により、市南部の複数の住宅団地からのアクセスが容易な生活の中心地を形成 	
(高幡台団地及び百草団地)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりある敷地と豊かなみどりに包まれた、賃貸や分譲など多様な住宅ストックがある大規模団地において、創出用地の土地利用や公共施設の再編整備を通じて、センター街区等における生活サービス機能を強化するとともに移動手段 	

日野都市 計画区域	<p>を充実させることにより、多様な世代がバランスよく居住する特色ある住宅市街地を形成</p> <p>(産業と住宅と自然が調和する地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業の大規模な工場や研究所、国の研究機関、大学などの集積と連携が進み、地域内や他地域との交流が活性化され、多様なイノベーションが創出され続ける地域を形成 ・産業の形態に応じた適切な立地が進み、産業と居住や自然が調和した活力のあるまちを形成 ・都市計画道路の整備により、交通渋滞が緩和されるとともに、防災性や安全性の高いまちを形成
東村山都市 計画区域	<p>(東村山)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、道路と鉄道との立体化に併せた都市基盤整備、地域のまちづくりにより、敷地、建築物の共同化が進み、商業、文化・交流、福祉、居住などの多様な機能が集積し、安全で利便性の高い地域の拠点を形成 ・東村山駅と秋津駅・新秋津駅周辺とを結ぶ都市計画道路沿道においては、商業、業務、住宅などの多様な都市機能が立地した市街地を形成 <p>(久米川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、道路網などの都市基盤が整備され、商業を中心に、居住などの機能が集積するとともに、交通広場に設置された自由広場では年間を通じてイベントなどが開催される、安全でにぎわいのある生活の中心地を形成
国立都市 計画区域 ・ 国分寺都市 計画区域	<p>(国立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、様々な交通機関や人が集まる交通結節点とし、安全・快適に回遊できる交流とにぎわいのある文教都市にふさわしい風格のある枢要な地域の拠点を形成 ・大学通りの並木や駅前広場などを中心としたにぎわいと魅力ある都市空間を形成し、文教都市にふさわしい学校や身近なみどりや住宅地とが調和した、快適で利便性が高く優れた景観を有する街並みを形成
国立都市 計画区域	<p>(谷保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、近隣住民へのサービスが向上し、日常生活を支える地域に密着した駅前の新たなにぎわいの創出と親しみある商業空間を形成 ・駅前にふさわしい商業地の景観形成やユニバーサルデザインのまちづくりなどにより、安全で快適な地域の生活の中心地を形成 <p>(矢川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺では、道路と鉄道との立体交差化に併せ、医療・福祉、住宅、商業などの多様な機能が集積した、にぎわいの創出と親しみある新たな商業空間を形成 ・駅前にふさわしい商業地の景観形成やユニバーサルデザインのまちづくりなどにより、安全で快適な地域の生活の中心地を形成

福生都市 計画区域	(福生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は、回遊性を生かした商業地域として、また商業、業務、行政、文化・交流などの機能を備えたにぎわいのある地域の拠点を形成 ・多摩川からのみどりの連続性を感じられる環境を生かし、景観に配慮した良好な住環境を形成
	(牛浜・東福生・熊川)
	<ul style="list-style-type: none"> ・各駅の周辺地区では、身近な生活圏における日常生活の利便性や生活の質の向上を図るため、日常生活を支える商店街やコミュニティインフラなどの集積が促進され、それぞれの地区の個性を生かした魅力ある生活の中心地を形成
	(羽村・小作)
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は、回遊性を生かした商業地域として、また工業団地への玄関口として、にぎわいのある生活の中心地を形成 ・多摩川からのみどりの連続性を感じられる環境を生かし、景観に配慮した良好な住環境を形成 ・羽村駅周辺では、都市機能の集約化、公共交通機関の利用促進及び回遊性の向上が図られることにより、高齢者にも暮らしやすく来街者に優しい、にぎわいのある都市空間を創出 ・羽村駅西口周辺では、土地区画整理事業による交通広場、都市計画道路、公園などの整備により、安全性、快適性及び利便性が向上し、商業機能が集積した市の玄関口としてふさわしい駅前市街地を形成 ・小作駅周辺地域では、ペDESTリアンデッキなど既存のインフラによる高い回遊性を生かし、商業拠点として、また工業団地への窓口として、にぎわいのある都市空間を創出 ・小作駅西口地域では、多摩川に近接したみどりの多い環境を生かし、景観に配慮した良好な住環境を形成 	
(殿ヶ谷)	
<ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路である新青梅街道の整備状況に合わせ、沿道用途地域の見直しや地区計画、緑化などを考慮した広がりや厚みのあるみどりの形成が図られるとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、日常生活やサービスの中心地として機能できるよう、商業・業務などの利便施設などの集積が図られ、交通の利便性を生かした土地利用や快適な生活の中心地を形成 	
(箱根ヶ崎)	
<ul style="list-style-type: none"> ・箱根ヶ崎駅周辺では、交通広場や都市計画道路などの都市基盤整備により、交通ターミナル機能の拡充がなされるとともに、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を見据えた商業・業務施設の整備・集約化により、人、交通及び情報が集まり、景観的にも美しい町の表玄関としての生活の中心地を形成 	

福生都市 計画区域	(武蔵地区)
	(栗原地区・西平地区)
	(多摩川沿い地域)
多摩都市 計画区域	[多摩ニュータウン]

・多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸等交通アクセスの充実を見据えつつ、既存工業団地と一体的な産業拠点を形成

・市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、市街地を形成

・市街地整備の見通しが明らかになった段階で農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、土地区画整理事業により新市街地を計画的に形成

・史跡玉川上水、羽村取水所、郷土博物館などの歴史・文化資源や、都立草花丘陵自然公園、多摩川、玉川上水などの自然環境を活用したレクリエーション機能、自然学習体験機能の導入などにより生涯学習活動の拠点を形成

○みどり豊かで高質な住環境、リニア中央新幹線駅へのアクセス利便性、大学の集積などを生かし、多様なイノベーションが創出され、生活を支える機能が充実した持続可能な市街地を形成

○高度に整備された都市基盤をいかし、業務、商業、文化などの諸機能が集積するとともに、情報関連産業、コミュニティビジネスなど幅広いサービスを提供できる中核的な拠点を形成

○円滑な建替えや改修により、高経年化した団地やマンションの計画的な再生が進み、市民のニーズに対応した、次世代に住み継がれる良質な住宅ストックを形成

○駅及びその周辺については、低未利用地を活用して都市型複合住宅の建設が促進されるなど土地の高度利用が図られることで、利便性が高く、活力と潤いある住環境を備えた市街地へと再生

○建築物の高さ制限などにより、緑豊かなゆとりある住環境が維持、形成されるとともに、丘陵地の地形を生かしたメリハリのある都市空間を形成

○南多摩尾根幹線の沿道においては、周辺の良質な住環境及び業務・産業、商業機能の維持に加え、道路整備や団地再生に合わせた土地交換などによる公有地等の活用を進め、更なる多様な機能の集積を誘導

(多摩センター)

・多摩センター駅周辺では、業務・産業、商業、教育・文化、アミューズメント、医療・福祉などの多様な機能が高度に集積し、交流が生まれ、回遊性に優れた歩行者ネットワークを形成した利便性の高い拠点を形成し、住民や地元企業など多様な主体の参画による活発なコミュニティ活動や協働のまちづくりが進展

・広域型商業地及び業務地では、商業・業務機能の強化が図られつつ、周辺に与

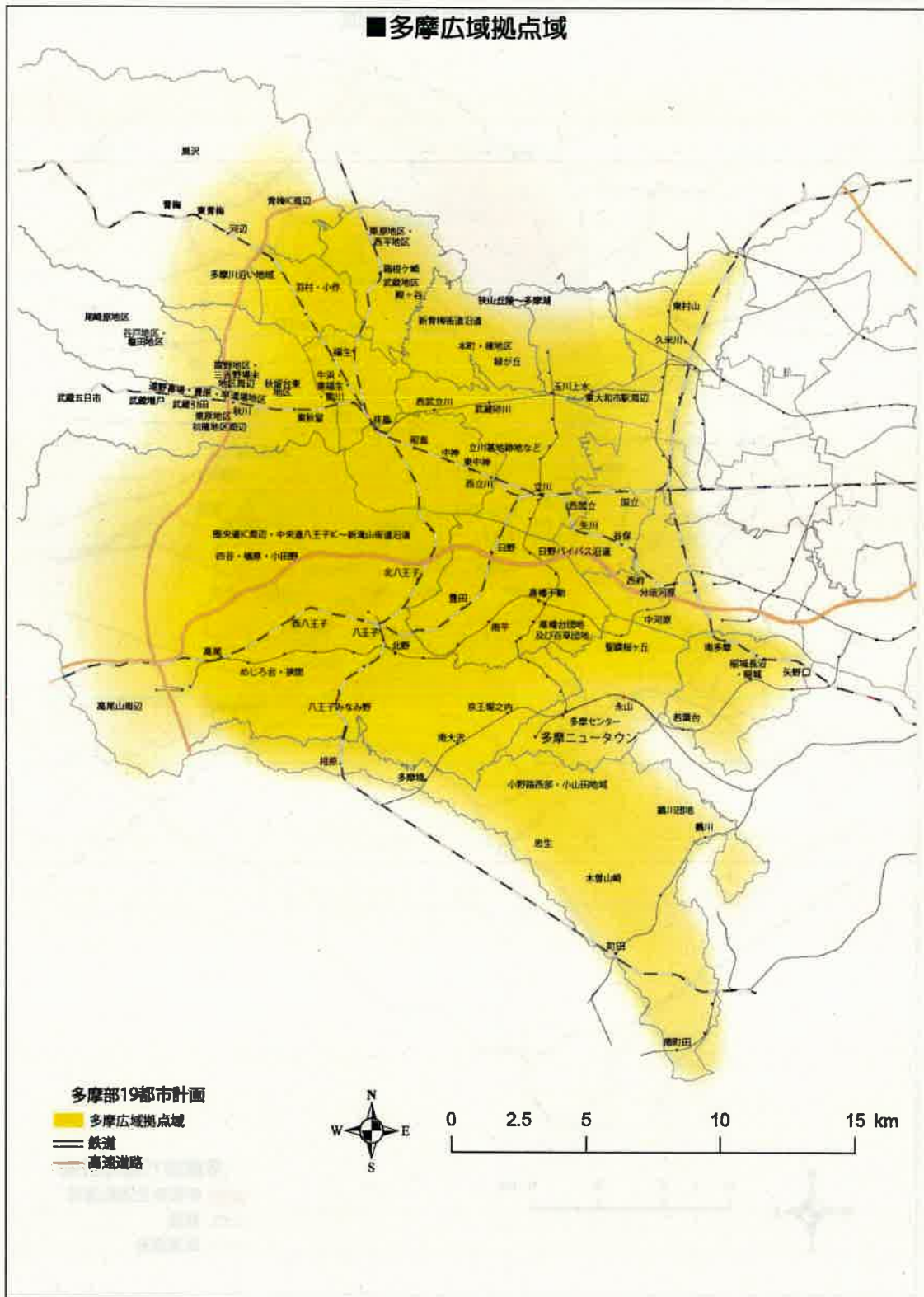
多摩都市 計画区域	<p>える影響を考慮しながら、住宅なども含めた複合市街地を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩センターとの連絡性が高い唐木田では、南多摩尾根幹線の沿道を中心に、業務、スポーツ、交流、教育、情報などの多様な機能が集積し、地域が活性化されるとともに、生活サービス機能の集積も促進され、住民利便性の高い拠点を形成 <p>(若葉台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 若葉台では、多摩ニュータウンの東の玄関口として、商業等の身近な生活サービスの施設が集積した拠点を形成するとともに、周辺にはみどり豊かで良好な住宅市街地を形成 <p>(永山)</p> <ul style="list-style-type: none"> 永山では、土地の高度利用等による駅周辺の再構築など、時代のニーズに合わせた土地利用への再編が進み、駅周辺に商業、医療・福祉、業務、公共・公益、生活支援などの複合的な機能が集積し、その周りに建替え・再生等による良好な住宅市街地を形成 	
	<p>(聖蹟桜ヶ丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺では、商業、文化・交流、生活サービスなど多様な機能が集積し、利便性の高い地域の拠点を形成 地域の特性に応じた土地利用転換や高度利用が図られ、住機能を中心に多様な機能が複合的に集積され、水辺空間と調和した市街地環境の保全・創出、防災機能の向上などにより、安全で快適な都市空間を形成 	
	<p>(稲城長沼・稲城)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地の有効活用や都市基盤の整備により、稲城長沼駅・稲城駅・市役所が回遊空間で結ばれ、商業等の機能が立地し、利便性が高く、文化や産業の交流が生まれる市の核となる生活の中心地を形成 	
	<p>(矢野口)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業による交通広場、道路網などの都市基盤整備により、商業・業務機能の集積や良好な居住環境が確保された、生活の中心地を形成 	
	<p>(南多摩)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業による交通広場、道路網などの都市基盤整備により、商業・業務機能の集積や良好な居住環境が確保された、生活の中心地を形成 	
	秋多都市 計画区域	<p>〔秋留台台地部〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秋留台の台地部、丘陵地や里山、秋川などが形づく自然地形が保全されつつ、地域農業と連携した新たな産業の立地や、地域の利便性を高める広域的な商業交流機能やサービス機能の整備などにより、活力ある地域を形成 ○計画的な市街地整備により、農地やみどりなど自然環境と調和したゆとりある住宅地を形成

秋多都市 計画区域	(東秋留)	<ul style="list-style-type: none"> 交通広場の整備と併せて、日常生活を支える商業施設の誘導が図られ、利便性の高い生活の中心地を形成 社寺や宿場町のたたずまいなど、地域固有の歴史や文化を生かした街並みを形成
	(秋川)	<ul style="list-style-type: none"> 秋川流域の中心市街地として、商業機能の集積と併せ、住民の交流の場の創出と文化施設との融合により、コミュニティの醸成を生かした生活の中心地を形成
	(秋留台東地区・東原地区)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、周辺市街地との調和を図り計画的に市街地を形成
	(遠野喜場・豊原・早道場地区)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、周辺市街地との調和を図り計画的に市街地を形成
	(武蔵引田)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、土地区画整理事業による交通広場などの基盤整備と併せて、職住近接のバランスのとれた産業複合市街地である生活の中心地を形成
	(武蔵増戸)	<ul style="list-style-type: none"> 南口周辺では、交通広場や道路整備による市街地環境の改善が図られ、利便性の高い生活の中心地を形成 北口周辺では、交通広場などの基盤整備により、利便性の高い駅前空間を形成
	(武蔵五日市)	<ul style="list-style-type: none"> 秋川渓谷などの豊かな自然を生かした観光の玄関口として、観光情報の発信拠点を形成 五日市憲法草案や祭事などの歴史や文化が継承・活用されることにより、にぎわいと地域活力に満ちた生活の中心地を形成
	(尾崎原地区)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、周辺市街地との調和を図り計画的に市街地を形成
	(谷戸地区・塩田地区)	<ul style="list-style-type: none"> 農地の保全が進み、観光農園や体験農園として広く開放されることにより、自

秋多都市 計画区域	<p>然と親しむ憩いの空間を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通機関の利便性を生かし、教育・文化・スポーツ・サービス機能が充実した生活の中心地を形成 地域の利便性を高める商業やサービス機能が充実し、農地が保全され、一部は住民や観光客に開放されるなど、自然環境と調和した、ゆとりのある生活の中心地を形成
	<p>(霞野地区・初雁地区・三吉野場末地区周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道インターチェンジ周辺では、交通アクセス機能を生かした産業系施設などの立地が促され、各地区の特性を生かした良好な市街地を形成 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、無秩序な市街化の抑制や周辺市街地との調和を図り計画的に市街地を形成

(3) 自然環境共生域

地域	将来像
青梅都市 計画区域	<p>〔多摩川渓流域〕</p> <p>(梅郷・沢井・御岳地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩川の渓谷と清流、御岳山などの豊かなみどりを生かした自然体験型の観光レクリエーションの普及や既存の美術館・博物館などとの連携により、回遊性のある観光交流拠点を形成
秋多都市 計画区域	<p>(秋川渓流域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋川渓谷などの豊富な自然、郷土の恵みや地域の歴史・文化に親しむ、観光レクリエーションエリアを形成



■ 自然環境共生域

